



荻原魚雷『日常学事始』（本の雑誌社）刊行記念

トークライブ & ミニライブ

荻原魚雷 × 東賢次郎

働き方 怠け方 改革



日時★2017年11月27日(月)
19:00 open 19:30 start

場所★本屋ルヌガンガ

高松市亀井町11番地13
中村第二ビル1F
(コトデン瓦町駅から徒歩3分)
TEL: 087-837-4646
<https://www.lunuganga-books.com>

料金★1,000円(焼き菓子付き)
+ ワンドリンクオーダー制

定員★20名

本屋ルヌガンガ web サイトのイベント
予約フォーム、または下記些末事研究
メールアドレスよりご予約ください。
ご予約のない方は入れない場合がございます。
ご了承ください。



荻原魚雷 作家

1969年三重県鈴鹿市生まれ。東京・高円寺在住。著書:『古本暮らし』『閑な読書人』(晶文社)『活字と自活』『書生の处世』『日常学事始』(本の雑誌社)『本と怠け者』(ちくま文庫)。毎日新聞(日曜くらぶ「雑誌のハシゴ」関東版)『小説すばる』『進学リーダー』『scripta』『フライの雑誌』で連載中。ミニコミ『些末事研究』で毎回座談を連載。ブログ「文壇高円寺」。



東賢次郎 作家/音楽家

1966年兵庫県生まれ。京都市在住。東京で大手出版社勤務を経て京都に移住。バンド「つれづれ」ギタリスト。著書に短編小説集『レフトオーバー・スクラップ』(冬花社)。



福田賢治 「些末事研究」発行人(司会)

1969年徳島市生まれ。高松市在住。有限会社デジタルモリス代表。2014年に、20年間暮らした東京から家族と共に香川県に移住。

「中央線の新しい思想家」との評判が高い作家荻原魚雷氏と、京都のバンド「つれづれ」ギタリスト兼小説家東賢次郎氏との座談を、高松市の新しい書店「ルヌガンガ」にて開催します。

現代において埋もれてしまいがちな近代日本の思想家たちを精力的に掘り起こし、その生き様をも綴ってきた荻原魚雷氏。そしてアナキストの実践生活篇ともいえる『日常学事始』(本の雑誌社)を上梓し、自らの生活をも披露しています。

一方、魚雷氏をして「理想的な生き方」と言わしめた東賢次郎氏は、東京にて多忙な編集者生活を過ごしたあと京都に移住し、音楽活動と小説創作の日々を送っています。

今回のトークライブのテーマは「働き方&怠け方改革」。アラフィフだからこの境地? いや、新しい世代こそが実践できる日本人の新しい生き方、新しい思想。それはもしかしたら現代においては忘れがちな、あたりまえの生き方と思想ではなからうか。そのあたりをトークライブで探っていきます。東賢次郎氏のミニライブもあり。乞うご期待!!!

お問い合わせメールアドレス: info@samatsuji.com (些末事研究編集部)